

えぐね

※えぐねは、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に杉・栗・桐などの木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林である。杉は建築材に、落葉は燃料や肥料などにも使われた。冬は温かく、夏は涼しく、緑豊かで快適な住環境を形づくるとともに、日本の原風景を代表する豊潤な景観を生み出している。

胆沢中の新リーダーが決まりました

11月12日(木)、生徒会役員選挙が行われ、胆沢中の新しいリーダーが決定しました。

生徒会長	及川 悠
副会長	根子 拓夢 千葉 哲平
執行委員	小倉 優太 加藤 璃乃 本城 洋斗 渡辺 明希 中澤 美賀
生活委員長	五十嵐心真
学習委員長	菊地 るな
保健委員長	菅原 菜月
広報委員長	佐々木彩乃
環境福祉委員長	松戸 真穂
図書委員長	鈴木 果琴
合唱委員長	齋藤 未央
応援団長	及川 琉翔

前期の生徒会役員は、コロナ禍の中、様々な思いを抱えながらの活動となりました。新役員皆さんの、よりよい胆沢中学校の創造にむけて1年間公約の実現に真摯な気持ちで取り組んでほしいと思います。また、全校生徒の皆さんには、一人一人が生徒会の一員であることを自覚し、一丸となってリーダーをバックアップしていく責務もあります。

新リーダーの元、胆沢プライドの一層の発展を期待したいと思います。

※たすきの重さ=初心忘るべからず！
1年間の奮起を期待します



バレー部、大健闘の準優勝

11月14日、15日、県新人大会(後期)が行われ、女子バレー部が見事準優勝に輝きました。

一回戦、準々決勝を危なげなく勝ち進み、準決勝では練習試合で負け越していた高田一中を2-0で下しました。勢いに乗って臨んだ決勝では、身長に勝る巖美中相手に最後まで食い下がりましたが、惜しくもフルセットでの敗退となりました。

6人ギリギリのメンバーで臨んだ大会でしたが、最後までチーム一丸となって戦い抜き、観る者を大いに魅了した素晴らしい試合でした。



県新人大会 バレーボール競技の部 結果

一回戦	胆沢	2-0	沼宮内・松尾
準々決勝	胆沢	2-1	厨川
準決勝	胆沢	2-0	高田第一
決勝	胆沢	1-2	巖美

保護者入試説明会を開催しました



11月16日(月)、本校体育館にて保護者入試説明会を行いました。今年はコロナ禍により、公立高校一般入試において面接がなくなったり、諸大会やコンクール等の中止によって推薦入試の判断基準がやや曖昧になったりするなど、少し例年とは違う入試となりそうです。また、願書の性別を書き込む欄が廃止されるなど、社会情勢の変化に合わせて様々な対応が行われていることにも注意が必要です。

現時点では多少の不安感はぬぐえませんが、やるべきことはいつもの受験と変わりありません。むしろ、面接廃止にともない自己アピールカードの提出も求められなくなるなど、勉強に専念できる状況は整ったと言えるかもしれません。しかしながら推薦や私立の入試では面接が必須となる場合がありますので、該当する人は普段からの言葉遣いや立ち振る舞い等に気をつけながら生活していく必要があるかと思えます。

志望校への志願意思の確認の意味を込めて、目下3年生全員に面接練習を行っています。概ね第一志望校が絞られているようですが、「なぜこの高校、なぜこの科なのか？」と改めて問うと、明確な返答に窮する人が少なからずいるのも現状です。推薦入試であればあと一ヶ月、一般入試でも二ヶ月後には受験する高校を決定しなければなりません。「体験入学に行ってみて、楽しそうだったから」というだけでなく、そこで3年間学ぶ決意や、その後の進路までしっかりと見据えて最善の選択をしてほしいと願っています。説明会では質問等は出ませんでした。事務手続きを進めていく上で不明な点が出てくることもあろうかと思えます。その際は遠慮せず、担任または進路担当までお問い合わせをお願いいたします。



なぜこれをするのか?を理解してやるのが大切

今朝の朝自習では、月一回の視写に取り組みました。改めて視写に取り組むことの意義について再確認したいと思います。諸説ありますが、視写を通して身に付く力として、



- ①日々続けることで身に付く「根気力」
- ②時間内に終わらせようとする「計画力」
- ③書かれていることを正確に読み取ろうとする「注意力」
- ④丁寧に書き続けるための「集中力・持続力」
- ⑤単語や文節でまとめて覚えるようとする「記憶力」
- ⑥手本と間違いがないか点検する「見直し力」

といった広範囲の能力向上が期待できると言われています。「朝自習の課題だから」ではなく、「自分にはこの力が足りないので視写で是非身につけたい」という思いで取り組むと効果は倍増するはず。月一回の貴重な取り組みです。是非集中して取り組んでほしいと思います。

創作部も頑張っています

県小中学校新聞コンクール 個人新聞の部

- 2年最優秀賞 小坂陽菜 風参
- 2年優秀賞 高橋さやか 残響
- 3年優秀賞 栗野ことね 向日葵

プーサンと読むそうです。

創作部の活動の一環として個人新聞に取り組み、29人がコンクールに応募しました。この他にも優良賞2、入選7をいただきました。素晴らしい成果です。おめでとうございます。

◎岩手県国体女子サッカー選抜合宿参加

2年 高橋 虹羽

◎中学生水の作文岩手県コンクール

入賞 3年 鈴木響那

◎税についての作文

水沢税務署長賞 3年 石川愛葵

「食卓を支える税」

